

トルバプタンOD錠 7.5mg「DSEP」

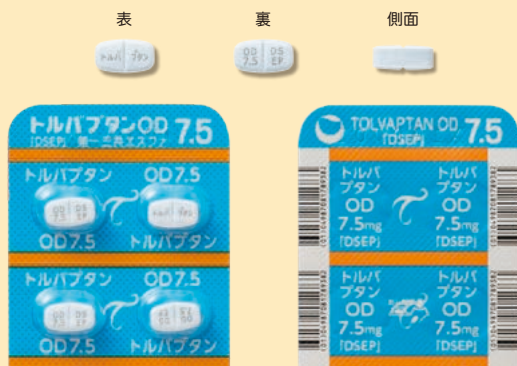
を服用される患者さんにご家族の方へ

肝硬変

このお薬は、腎臓に作用して尿量を増やし、
体内の余分な水分を排泄することにより、
体のむくみをとるお薬です。

通常、他の利尿剤で治療しても体のむくみに対する効果が
不十分な場合に、他の利尿剤に併用して用いられます。

トルバプタンOD錠 7.5mg「DSEP」



●錠剤は実物大です。

トルバプタンOD錠 7.5mg「DSEP」を服用される前に

次のような方は、服用前に必ず医師または薬剤師にお伝えください。

- 以前にお薬や食べ物で、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある方。
- 無尿、口渇を感じない、水分摂取困難、高ナトリウム血症、肝性脳症、冠動脈疾患、脳血管疾患、高カリウム血症、腎障害がある方。
- 妊婦、妊娠している可能性がある方、または授乳中の方。
- 他のお薬を使用している方（一般用医薬品や飲食物などを含め、お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もあります）。

（裏面も必ずお読みください）

服用方法について

- 通常、成人は1回1錠（主成分として7.5mg）を1日1回服用します。**夜間の排尿を避けるため、午前中に飲んでください。**症状により、半量(3.75mg)での服用開始または減量されることがあります。いずれの場合も、必ず指示された服用方法に従ってください。
- このお薬は、舌の上のせ唾液で湿らせて舌で軽くつぶし、唾液とともに飲み込んでください。また、コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲むこともできます。
- 寝たままの状態では水なしで飲まないでください。
- 飲み忘れた場合は、気がついた時に**1回分を飲んでください。**ただし、次に飲む時間が近い場合は1回とばして、次の服用時間に1回分を飲んでください。
絶対に2回分を一度に飲んではいけません。
- グレープフルーツジュースと一緒に飲むと、このお薬の作用が強くなる場合がありますので、避けてください。
- 誤って多く飲んだ場合は医師または薬剤師に相談してください。
- 病気の状態を確認するために、医師の指導に従い、毎日決められた時間に体重を測定しましょう。

医師または薬剤師の指示なしに、自分の判断で服用を中止したり、量を減らしたりすると、病気が悪化することがあります。指示通りに服用することが重要です。

服用中に注意していただきたいこと

次のような症状がみられましたら、すぐに医師または薬剤師に相談してください。

主な副作用として、頭痛、めまい、口渇、便秘、肝機能障害、頻尿、多尿、疲労、多飲症などが報告されています。

- 体重の短期間での急激な増加、排尿回数や尿量の急激な減少、腹部膨満感など腹水に伴う症状の悪化、むくみの増加があらわれた場合。
- このお薬の使用途中に、**口渇、脱水などの症状(疲れやすい、体重が減るなど)があらわれた場合には、水分補給を行ってください。**

その他の重要な注意

- めまいや立ちくらみなどがあらわれることがあります。転倒などの危険がありますので、特に高齢の方は十分に注意してください。また、自動車の運転、高所作業など、危険を伴う機械の操作は行わないでください。
- **まれに下記のような症状があらわれ、【 】内に示した副作用の初期症状である可能性があります。このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。**
 - ・ 尿量減少、むくみ、のどの渇き【腎不全】
 - ・ 局所の痛み、圧痛、紅斑【血栓塞栓症】
 - ・ 精神の混乱と過呼吸、のどの渇きなどの脱水症状、意識がうすれる（重篤になると昏睡）【高ナトリウム血症】
 - ・ 手足のまひ、発音が不明瞭になる、飲み込みにくい、けいれん、意識の消失、意識が乱れる【急激な血清ナトリウム濃度上昇、浸透圧性脱髄症候群】
 - ・ 全身倦怠感、食欲不振、皮膚や結膜などの黄染（黄色くなる）【急性肝不全、肝機能障害】
 - ・ 立ちくらみ、蕁麻疹、呼吸困難【ショック、アナフィラキシー】
 - ・ 便に血が混じる、黒い便が出る、吐いたものに血が混じる【消化管出血】

以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。

- 妊娠する可能性のある人がこの薬を服用している間は、避妊をするなど妊娠しないように注意してください。また、この薬を使用している間に妊娠がわかった場合には、すぐに医師に相談してください。

連絡先(医療機関名)



第一三共エスファ株式会社

EPTOL1P00401-1

2022年9月作成